

新たな大規模展示場の 計画について

なぜ、愛知で大規模展示場なのか？

日本が、激しい国際競争の中で、さらに発展していくためには、
圧倒的な愛知の産業力が不可欠！



5千万大交流圏の
西の拠点

愛知のポテンシャル

モノづくりを中心に
わが国の成長を牽引

人口増、都市機能の
集積など

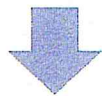
- ・リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する「中京大都市圏」
- ・日本の成長をリードする、産業の革新・創造拠点

～「あいちビジョン2020 めざすべき愛知の姿」より抜粋～

大規模展示場の整備は喫緊の課題

産業インフラの充実が必須

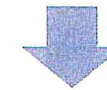
国内の展示会産業は
ハード・ソフトの両面で東京一極集中



一方、愛知で開催される
モノづくりに関する展示会では
出展募集後に即日完売

日本全体の展示会需要の受皿

2020年
東京オリンピック・パラリンピックの前後に
首都圏の主要な展示場が一定期間閉鎖



日本全体の展示場不足に
愛知が的確に対応

日本の発展を支えるこの愛知に
新たな大規模展示場を2019年秋頃の開業

- ✓ MICEによる新たなビジネスマッチングの機会を創出
- ✓ 企業や研究機関の誘致や、新たな交流によるイノベーション
- ✓ 国内外から人を呼び込む集客交流拠点

新たな大規模展示場の概要

建設予定地

空港島(常滑市)

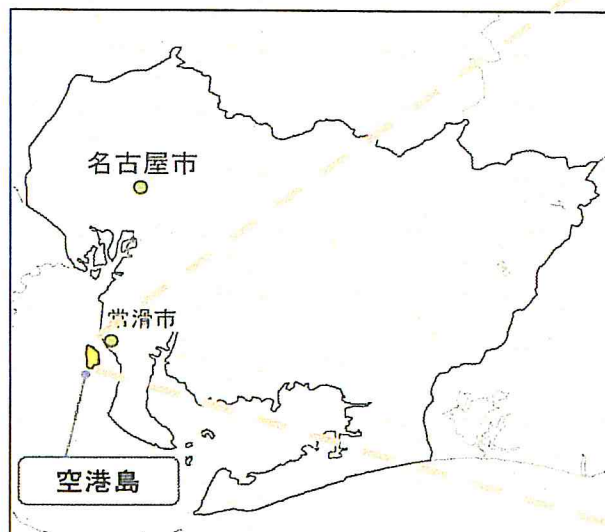
敷地面積

28.7ha(県企業庁所有)

※展示場面積の拡張が
可能となる十分な敷地

開業予定

2019年秋頃



施設規模

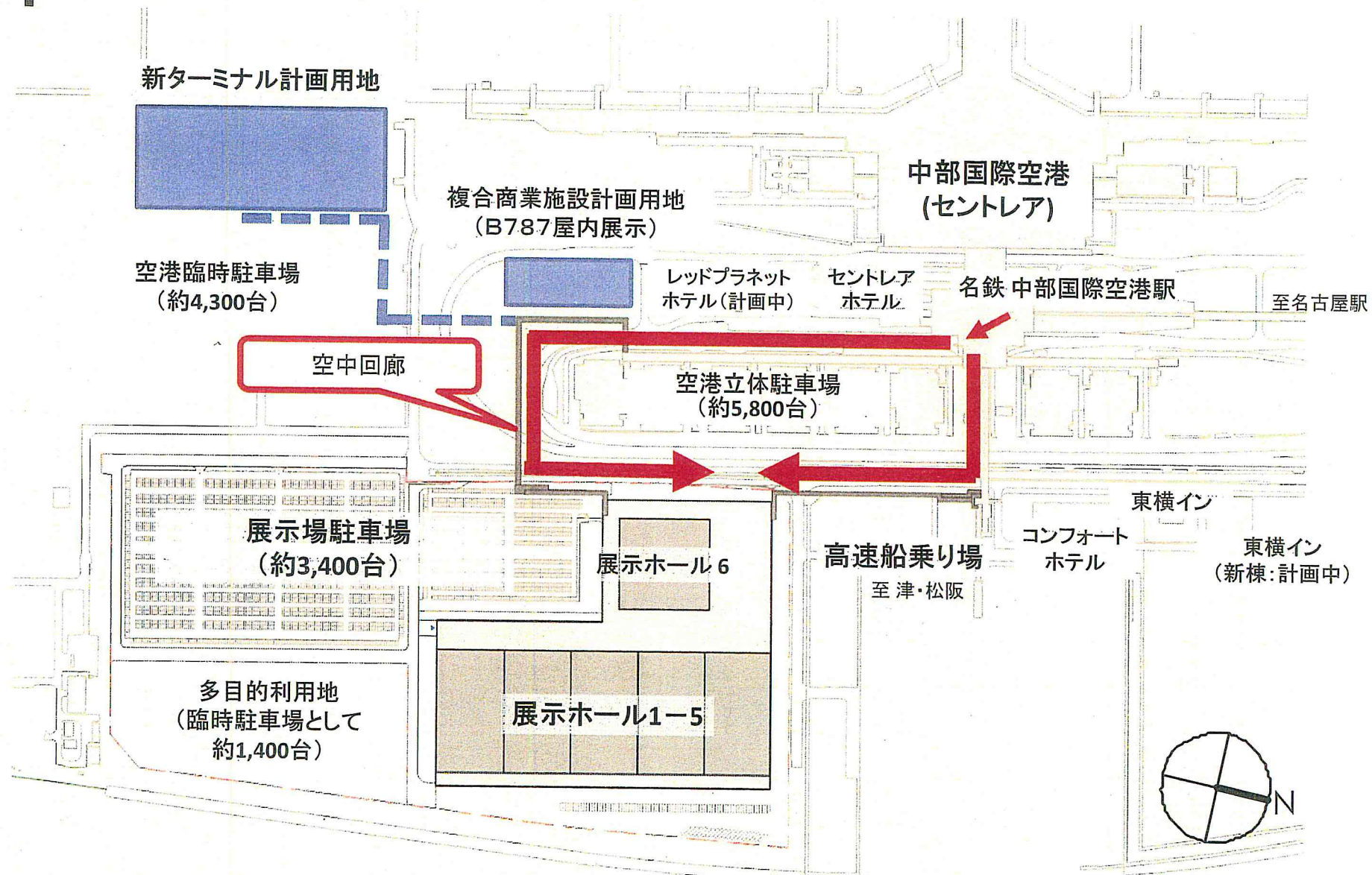
展示面積6万m²
(国内の展示会の9割をカバー)

整備費等

建設費 約350億円



空港島内配置図



施設整備の考え方(平成28年2月3日発表)

- 展示施設の規模は、国内で開催されている大規模な展示会の開催が可能となる6万㎡とし、付帯設備として会議室や駐車場を併せて整備
- 建物仕様は必要最低限のものとし、整備費は倉庫レベルの水準を目指すとともに、発注方式に関しても整備費を縮減できる方策を引き続き検討
- 東京オリンピック・パラリンピックの影響により首都圏での開催が困難となる展示会需要の取り込みを図るため、2019年秋頃の開業を目指し、短期間で整備するために県直轄により整備

<建物仕様のイメージ>

ショッピングセンター	倉庫	国際展示場
		
グレード低		グレード高
・柱が多数ある ・必要最低限の設備のみ	・柱がある ・必要最低限の設備のみ	・無柱空間のホールが多い ・音響設備、可動式間仕切りなど有

整備費の内訳(6月補正予算)

予算額 52百万円(基本設計費、 外に 債務負担行為34,891百万円)

項目	百万円	備考
本体建設工事 本体工事費計	30,512	
(内訳) 杭工事	1,997	
躯体工事	8,821	展示ホール1～5は柱を設置しコスト縮減
外部仕上工事	3,157	倉庫並みの仕上としコスト縮減
内部仕上工事	3,056	・展示ホール1～5は可動壁ではなくシャッター設置 ・倉庫・事務室レベルの仕上としコスト縮減
28,515— 空気調和工事	7,189	全展示ホール空調設置
その他設備工事	5,699	電気設備、防災設備等
その他雑工事	593	サイン工事等
外構工事	3,884	駐車場含む
小計	34,396	
委託料	547	設計等 (うち平成28年度 基本設計費 52百万円)
合計	34,943	

本県大規模展示場

33万円/m²

(杭を除く本体工事費28,515百万円÷延べ面積86,000m²)



主要国内大規模展示場

54～88万円/m²

施設の仕様

室構成	室名	展示ホール1～5	展示ホール6 (コンサート対応)	エントランスホール、 モール	会議室、多目的室、 控え室、その他
	面積	10,000㎡×5室	10,000㎡	10,000㎡	16,000㎡
構造		鉄骨造			
		柱間隔25.0m 有効高14.0m	柱の無い空間 有効高14.0m	天井高さ5m	天井高さ3m
外部仕上	屋根	亜鉛鋼板（デッキプレート）＋断熱材＋防水シート			
	外壁	ALC（軽量気泡コンクリート）			
内部仕上	天井	亜鉛鋼板 （デッキプレート）		化粧ボード	
	床	コンクリート床（耐荷重5t／㎡）		タイルカーペット、ビニル床シート タイル、花崗岩等	
	その他	塗装仕上げ コンサート対応の ため防音材設置			
設備		空気調和設備、給排水設備、消火設備、照明設備等設置			
		展示用配線・配管ピット設置			

展示ホールのスペック

- 国内の主要展示場は、大規模な展示会にも対応できるように、1ホールあたりの面積が約7,000～10,000㎡程度となっている。
- 天井高は12m以上、床荷重は5t/㎡であれば、重機など大型展示物への対応も可能

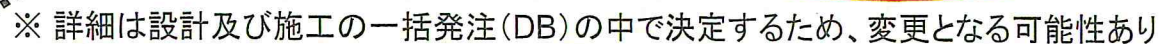
<本県展示場及び国内の主要展示場の施設概要>

		本県 大規模展示場	東京ビッグサイト	幕張メッセ	パシフィコ横浜	インテックス大阪	ポートメッセなごや
展示面積		60,000㎡	80,660㎡	72,000㎡	20,000㎡	70,078㎡	33,946㎡
代表的な ホール	名称	展示ホール1～6	西1ホール	ホール9	ホールB	6号館A	2号館
	面積	10,000㎡	8,880㎡	9,000㎡	6,700㎡	9,680㎡	6,576㎡
	天井高	14m	12m	16～34m 勾配天井	13～19m 蒲鉾型天井	11.7m	12.5m
	床荷重	5 t/㎡	5 t/㎡	5 t/㎡	5 t/㎡	5 t/㎡	5 t/㎡

注：1ホールあたり面積、天井高、床荷重は代表的なホールを抽出

出典：(株)ピーオーピー「全国会場Navi2015年版」

- 展示ホール1～5はシャッター開口を5箇所設置、一体的に利用が可能
- 展示ホール6は柱の無い空間とし、コンサート等の利用が可能
- 会議室はエントランスホールに隣接して設置予定
- 展示ホール1～5は展示会に支障のない程度の柱を設置



構造の仕様

展示ホール1～5は柱のある空間とし、
ホール間の間仕切り壁をシャッターとすることでコストを削減

本県展示場

倉庫レベル: 柱あり



シャッター設置



東京ビッグサイト、幕張メッセなど

無柱空間

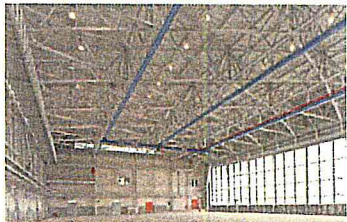


可動壁設置



外部・内部仕上

展示ホールの外部・内部仕上は倉庫レベルとすることで、コストを削減

部位		本県展示場 展示ホール1～6	主要国内大規模展示場施設 (東京ビッグサイト、幕張メッセ等)
外部	屋根	亜鉛鋼板(デッキプレート)+断熱材+防水シート	ステンレス鋼板+断熱材
			
	外壁	ALC(軽量気泡コンクリート)	コンクリート+ガラスカーテンウォール
			
内部	天井	亜鉛鋼板(デッキプレート)	ステンレスパネル、グラスウールボード
			
	床	コンクリート床	
			

スケジュール

- 設計・施工一括方式にすることで、発注手続が1回となることと、施工者の技術力を設計段階から活用し、設計作業と合わせて施工準備ができることにより工期短縮

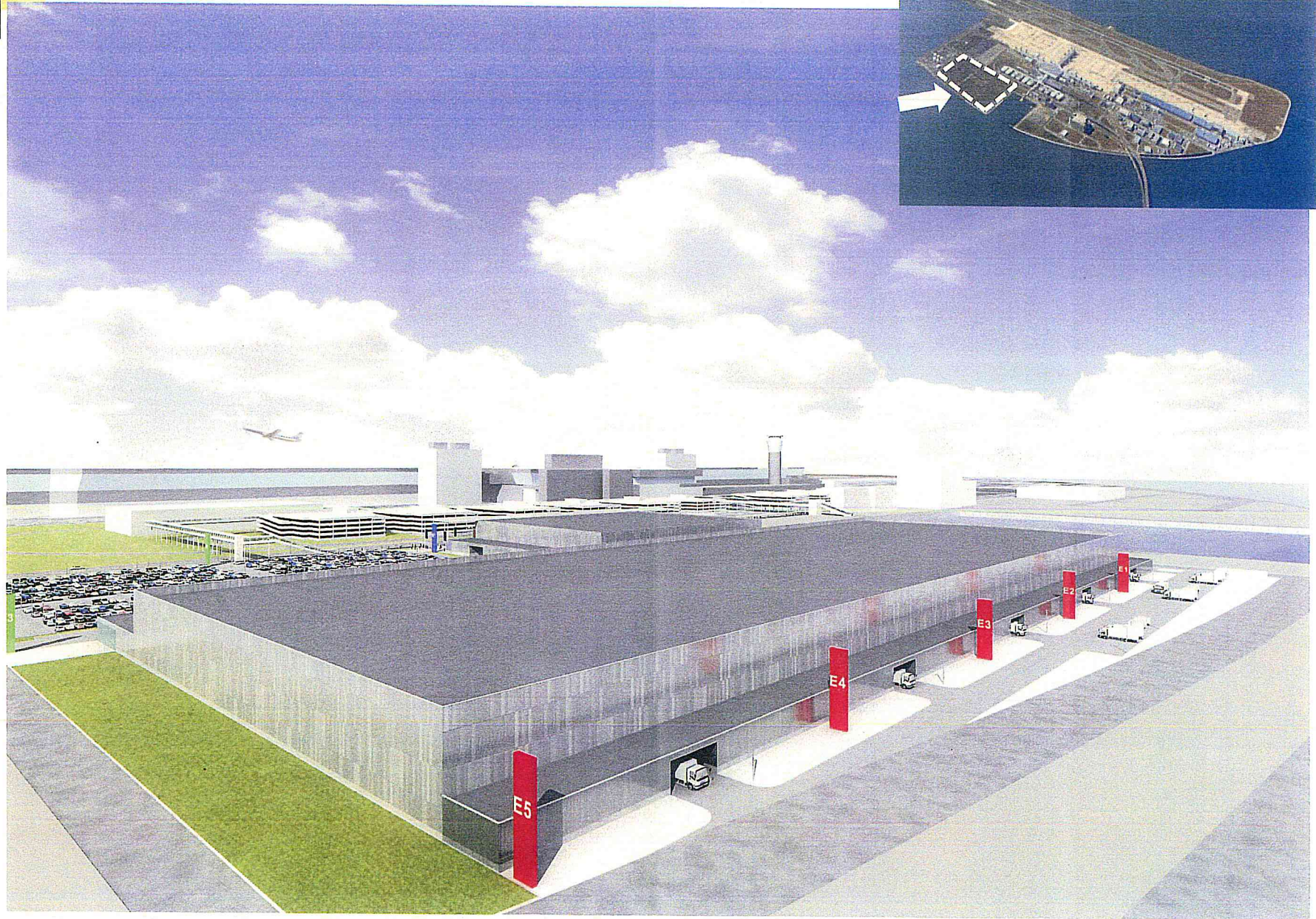
	2016年度 (28年度)	2017年度 (29年度)	2018年度 (30年度)	2019年度 (31年度)	2020年度 (32年度)
施設整備	入札公告(8月頃～) 	契約議案提案 設計・工事 (計33ヶ月) 			2019年秋頃 に開業予定
運営	施設設置条例案提案 	運営事業者募集・決定、料金決定 			

外観イメージ1



メインエントランス

外観イメージ2



海側(南東)からの俯瞰図

外観イメージ3



陸側(南西)からの俯瞰図

外観イメージ4



陸側(北西)からの俯瞰図

内観イメージ1(展示ホール1～5)



展示ホール内

内観イメージ2(展示ホール1～5)



展示ホール内